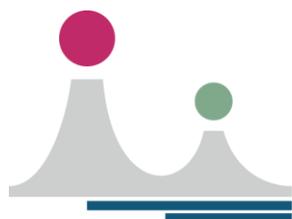


**兵庫県洲本市における「子ども第三の居場所」  
コミュニティモデルの開設と運営と車両整備(1年目)**

**2023 年度事業報告書**



特定非営利活動法人

**兵庫 SPO 支援センター**

# 令和5年度 子ども第三の居場所 事業報告書

令和6年4月9日

特定非営利活動法人兵庫SPO支援センター

## 1. 事業計画

### (1) 目的

生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を開設・運営する。行政、NPO、市民、企業の方々と協力し、誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくりこことで、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指す。

### (2) 目標

■開設事業を実施する場合、以下の目標をご記入ください

- ・2023年10月31日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設する
- ・運営開始までに関係各所（自治体・学校・SSWなど）へ事業の説明会を実施する

■コミュニティモデルの運営事業を実施する場合、以下の文言を記入ください

- ・2024年3月31日までにこの一日平均利用児童数を15名にする
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に6回実施する

### (3) 事業内容

子どもたちが安心して過ごせる環境で生き抜く力を育むことを目的として、以下の事業を実施する。

#### 1. 兵庫県洲本市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設

- (1) 物件現況：店舗（築100年、耐震補強等全面改修後3年）
- (2) 取得形態：賃貸
- (3) 工事内容：木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、弱電工事、サッシ入れ替え工事、サイン工事、備品・家電購入、車両整備など
- (4) 施設名称：YORISOI米田家
- (5) 面積：総面積約267m<sup>2</sup>、99.16m<sup>2</sup>（図書室と多目的室）、91.23m<sup>2</sup>（学習室兼多目的室）、43.30m<sup>2</sup>（事務所及び談話室）、19.66m<sup>2</sup>（相談室）、13.22m<sup>2</sup>（お風呂及びトイレ）
- (6) 構造：木造瓦葺（主屋）、土蔵造瓦葺（蔵）
- (7) 施設概要：食事・交流・学習スペース、図書室、絵画制作室、キッチン、お風呂、相談室など
- (8) 定員：子ども20名

#### 2. 兵庫県洲本市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

- (1) 期間：2023年10月1日～2024年3月31日（週3日、15時から19時まで開所）
- (2) 場所：兵庫県洲本市
- (3) 対象：20名

(4) 内容：「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。また農業体験やサバイバル体験、地域のアーティストと協働した学習、県立洲本高校生及び大学生ボランティアによる学習支援の実施などを実施する。

## 2. 事業実績

1. 兵庫県洲本市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設

- (1) 物件現況：店舗（築100年、耐震補強等全面改修後3年）
- (2) 取得形態：賃貸
- (3) 工事内容：木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、弱電工事、サッシ入れ替え工事、サイン工事などの改装を実施した。  
備品・家電を購入した。

車両整備を行い、購入した。

### 【購入車両】

①日産セレナ

②日産デイズ

- (4) 施設名称：YORISOI米田家
- (5) 面積：総面積約267m<sup>2</sup>、99.16m<sup>2</sup>（図書室と多目的室）、91.23m<sup>2</sup>（学習室兼多目的室）、43.30m<sup>2</sup>（事務所及び談話室）、19.66m<sup>2</sup>（相談室）、13.22m<sup>2</sup>（お風呂及びトイレ）変更なし
- (6) 構造：木造瓦葺（主屋）、土蔵造瓦葺（蔵）
- (7) 施設概要：食事・交流・学習スペース、図書室、絵画制作室、キッチン、お風呂、相談
- (8) 定員：子ども20名（現状2名来所登録）

2. 兵庫県洲本市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

- (1) 期間：2024年2月15日～2024年3月31日（週3日、14時から19時まで開所）
- (2) 場所：兵庫県洲本市
- (3) 対象：20名
- (4) 内容：「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。また県立洲本高校生及びボランティアによる学習支援を実施した。

## 3. 各種取り組みについて

- (1) 開所に向けて
- (2) 開所式
- (3) 受入れ開始（開所後）
- (4) 広報チラシ

### (1) 開所に向けて

1. 取り組み

- ① 関係機関との関係づくり

② ニーズを持った家庭の掘り起こし

③ 地域課題の共有と広報活動

活動内容

年月日	場所	参加者数 (スタッフ)	活動内容
4月～2月	洲本市教育委員会	(3)	連携打ち合わせ (2カ月に1回程度)
4月～2月	洲本市社会福祉協議会福祉会館	1 (1)	洲本市社会福祉協議会事務局長と随時連携 (3か月に1回程度)
8月10日・24日	洲本商工会議所多目的ホール	5 (10)	<p>高校生・教育大学生が小学生の夏休みの宿題をサポート 「夏休みの宿題をやっつけろ!」として、10日と24日の2回実施。 サポート：兵庫教育大学生と県立洲本高校生</p> 
9月10日、10月7日、11月11日、12月23日	洲本商工会議所多目的ホール	1 (4)	<p>学習支援 勉強についていけない子どものための学習支援</p>
同日	洲本商工会議所会議室	1 (4)	<p>保護者交流会 講師：笹倉千佳弘氏 (滋賀短期大学教授)</p>
9月25日	洲本市役所会議室	35 (1)	洲本市小中学校校長会にて「子どもの居場所」について説明
10月11日	洲本市青少年センター	1 (2)	適応教室を運営している青少年センターにて、センター長と面談、打ち合わせ。
10月12日	淡路県民局	3 (1)	県民局との連携・打ち合わせ
10月17日	淡路インタ	40 (1)	島内の経済人等が集う「正風会」にて、「つづけること・つながること 経済・社会・人 地域で子どもを守り育て

	一ナシ ヨナル ホテル ザ・サ ンプラ ザ		るしくみづくり」のテーマで代表の李貫一が講演  
10月26日	淡路 県民局	30 (1)	子ども支援に関わる人たちが集まった研修の会場で「子どもの居場所」について説明
11月18日	洲本 商工会 議所大 ホール	14 (6)	セミナー「地域協働型子ども包括支援の実績報告 ～早期から切れ目のない支援を目指して～」 講師：李炯植氏（認定NPO法人Learning for All代表理事）  
1月20日	コモ ード商 店街レ インボ ー広場	80 (7)	ジャズコンサート&瓦割イベント 子ども支援のアピールイベント  
1月21日	洲本 商工会 議所当 法人事 務所	3(1)	今後の野外研修について打ち合わせ

## 2. 建物の改修・改装

「子ども図書館」となっていた蔵にはクーラーや空調設備がなく、コロナと重なり、子どもが来れない状況になっていた。また、母屋の屋根の改修まで資金的な余裕がなく、所々雨漏りしている状況にあった。

当法人はこの場所を「地域で地域を支える場所に」「地域で子どもを支えるしくみに」の目的で日本財団の「子ども第三の居場所」助成を受けて、改修・改装した。



キッチン



蔵のギャラリー



蔵の入口



蔵の子ども図書館



蔵の子ども図書館



中庭



正面玄関横



母屋2階 学習支援ルーム

### 3. 車両整備

連携野外施設「淡路島マンモス」での野外体験と日常的な業務・送迎を目的とした車両をバンタイプと軽自動車の2台を日本財団の支援を受けて運用を始めた。



日産セレナ 8人乗り



日産デイズ 軽自動車

## (2) 開所式

1. 当日の内容
2. 出席者

### 3. 掲載記事

#### 1. 当日の内容

日 時 2024年2月15日(木) 13:30~16:00

場 所 〒656-0025 兵庫県洲本市本町7丁目2-25 「YORISOI 米田家」

#### 次 第

##### ○代表挨拶

特定非営利活動法人 兵庫 SPO 支援センター 代表理事 李 貫一

##### ○所長挨拶

子ども第三の居場所「みらいえ」所長 岸本 伸明

##### ○洲本市教育長 挨拶

洲本市教育長 本條 滋人 様

##### ○日本財団 挨拶

日本財団 公益事業部 子どもサポートチーム チームリーダー 金子 知史 様

##### ○画家・増田 薫 様 挨拶 (当施設のギャラリー部分の絵の提供者)

##### ○森長組、多田設計事務所への感謝状授与

##### ○来賓紹介

##### ○金子みすゞ「みんなちがってみんないい」朗読

元MBSアナウンサー 水野 晶子 氏

##### ○オカリナ演奏

吟オカリナ 喜田和大 様

##### ○テープカット・記念撮影

#### 2. 出席者 (敬称略)

洲本市教育委員会 教育長	本條 滋人
洲本市健康福祉部福祉課 課長	植竹 英樹
洲本商工会議所 副会頭	坂本 昌文
洲本市社会福祉協議会 事務局長	城田 知志
淡路信用金庫 理事長	石村 健
一般財団法人淡路信用積善会 事務局長	奥田恵康
洲本市小学校校長会 会長 (都志小学校)	足立 武
画家	増田 薫
洲本本町7丁目商店街会長	田中 伸男
洲本本町7丁目町内会長	千川 淳一
株式会社森長組 代表取締役社長	森 宏文
多田設計事務所 一級建築士	多田 英雄

日本財団 公益事業部 子どもサポートチーム チームリーダー 金子 知史

日本財団 公益事業部 子どもサポートチーム 秋山 遼佳

【その他】

洲本市市会議員・当法人社員・蔵の子ども図書館寄付者・当団体評議員・当法人ボランティア

洲本高校ボランティア・(当日運営スタッフ) スタッフ (当日運営スタッフ)

3. 掲載記事



(神戸新聞 2月17日)



(読売新聞 2月16日)



(産経新聞 2月16日)

(3) 受入れ開始 (開所後)

1. 地域見学会
2. 受入れ開始
3. 広報チラシ

## 1. 地域見学会

(目的) 地域住民への理解促進と交流

(内容)

開催日時：2024年2月17日(日) 12時～15時

場所：洲本子ども第三の居場所「みらいえ」

入場者：約30名

入場者の内容：地域住民

スタッフ：洲本高校生が中心で受入れ



(当日看板)



(高校生スタッフ)

## 2. 受入れ開始

(2024年3月31日時点)

見学者：3組

登録者：2名(小学校1年生1名・小学校3年生1名)

登録者初回利用日：3月14日2名

延べ利用数：6名

プログラム内容：学習スペースでの学年に合わせての学習支援

1階和室スペースでのスタッフ及び洲本高校生との遊び



(高校生が子どもたちへのメダル作成)



(高校生と遊ぶ)



(スタッフと遊ぶ)



(学習支援のなかで)

#### (4) 広報チラシ

**三州子ども第三の居場所**  
ただいま一みらいえ 新オープン！  
2024年2月20日

学校、家とは別の場所で、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む場所です。

**施設内**  
・遊具が揃った  
火・水・水曜日  
14時～19時  
・第1・3土曜日  
13時～14時  
定休：水曜日・祝日は休み

**定員20名**  
・小学生対象  
(高校生は応相談)

**提供されるもの**  
・保護者協力  
(ママさん、パパさんなど)  
・学習支援  
・食料  
・基本的な生活習慣  
・可能性との出会い  
・地域とのつながり

運営：NPO法人兵庫SPO支援センター  
所在地：洲本赤木町1丁目2-25 YOHISOI米田家  
連絡先：0799-36-6310  
メール：contact@spo.or.jp  
HP：https://spo.or.jp

**利用料**

①一般利用(食事なし)  
※食事提供前の17時までのお預かりとなります。  
※4,000円/月

②一般利用(食事あり)  
※食事提供は18時からとなります。  
※8,000円/月

③1日利用  
※3,000円/日(食事なし) 600円/日(食事あり)

④特別利用(食事あり)  
※「誰も取り替えない支援」を目指し、経済的な事情等がある場合は、面談の上無料でお預かりいたします。  
※無料

※ご利用は面談の上で受入れを決定いたします。

**スペースの説明**

- 主棟  
・2階フロアー 学習支援スペース  
・1階廊下 学習・遊び・食事スペース
- 副棟  
・2階廊下の子ども図書室 図書スペース  
※約2,000冊の本があります。  
・1階キッズライブラリー 読書・音楽スペース  
※机が置かれ、ピアノが置かれています
- カフェ  
・1階1階土間 交流スペース  
※一般の子ども・母子にも無料開放します  
(無料開放日時：火水木曜日13時～14時)

**運営について**

- スタッフ  
・所長(元小中学校長)  
・学習・生活指導スタッフ  
・食事提供スタッフ  
・危機管理を受け持つスタッフ2名
- 地域ボランティア 数名
- 学生ボランティア 数名

予約：利用検討者の見学希望を付けております。(要予約) 0799-36-6310

**高校生・教育大学生が小学生の  
夏休みの宿題をサポート**  
夏休みの宿題を  
やっつけろ！ 無料

自由研究  
作文を除く

対象：小学生ならだれでも受けれる  
2023年8月10日・24日  
◎ 午後2時～4時  
定員：20名(先着順)  
場所：洲本商工会議所2階多目的ホール  
(洲本市本町4丁目5-3)

問い合わせ：tel 0799-38-6310 メール contact@spo.or.jp  
申込：右の2次元コードを読み取ってお申し込みください。  
主催：NPO法人兵庫SPO支援センター

子どもは、「バウ」がボランティア・地域づくり内NPO(非営利協会)を受けて実施しています。

**参加費 無料**

**子どもの学習支援  
保護者交流会・相談会**

勉強についていけない子どものための学習支援の場です

2月10日(日) 14時～16時  
7月7日(土) 14時～16時  
11月1日(土) 14時～16時  
12月10日(日) 14時～16時  
場所：洲本商工会議所多目的ホール  
参加費：小学生が小学生・中学生の学習をサポート

**同日同時開催**

**セミナーと  
保護者交流会**

上記「子どもの学習支援の日」と同日に同時開催予定です

2023年  
9月30日(日) 14時～16時  
10月7日(土) 14時～16時  
11月1日(土) 14時～16時  
12月23日(土) 14時～16時  
場所：洲本商工会議所会議室6-6  
大学講師・元職員などがセミナーと交流会に参加します。

**個別保護者相談**

2024年  
10月6日(日) 13時～14時・15時  
11月1日(日) 13時～14時・15時  
場所：洲本商工会議所2F  
15時から18時に相談を受け付けます。(予約制)

**困難に直面する子どもたち  
小学生・中学生・保護者をサポート**  
申込はフォーム又は電話で 参加申込フォーム

主催：NPO法人兵庫SPO支援センター  
申込・問い合わせ：TEL 0799-38-6310  
後援：洲本教育委員会・洲本商工会議所



## 2 事業総括

### (1) 背景

淡路島洲本市のまちづくりに関わり7年となる。当法人が洲本市に誕生して6年、今回「子ども第三の居場所」となったYORISOI米田家の第1回目の改修がなってより5年。

少子高齢化、経済の失速等の理由もあり行政及び企業の役割は限定的となり縮小傾向にある。一方、地域や社会の課題は複雑化・複層化していき、グレーな課題には誰も手が届かない状況となっていた。

そのなかで、3年前、東京目黒区の船戸結愛ちゃんの事件に象徴されるようなことが各地で起きている。児童相談所等の行政機関が絡んでいたにもかかわらず、大切な子どもの命を救うことはできなかった。複層的な問題があり、子どもが守られていない。

### (2) 経緯

「地域が子どもを見守り支えるしくみを」「偶然の中で必然をつくる」を掲げ、蔵をクラウドファンディングと寄付金で改修。「蔵の子ども図書館」を開設した。

十分な資金が集まらず、空調設備のない中でコロナが発生し「開店休業」に、母屋では雨漏りがする中、障がい者支援団体さんに1階をお借りいただいていた。

初期の目標である「地域で地域を支えるしくみ」を創るために「子どもをまんやかにした地域づくり」を目的に、これまでの地域でのネットワークを活かし洲本に「子ども第三の居場所」を創ろうとしたこの1年、日本財団の「子ども第三の居場所事業」に手を挙げ、取り組んできた。

### (3) 事業の成果

改修工事の追加や遅れもあり、当初の10月の開所が年を越えた2月になったが、2月15日、50名ほどの関係者、支援者が集い開所式を盛大に開催できた。

開所後1カ月半の期末時点で、2名の登録者と2名の予約者ができたことは幸いで、今、この子たちを通じて、理想的なかたちへと歩みだしている。

この1年は、「子ども第三の居場所」設置に向けた準備と教育委員会等との関係づくり、イベントやセミナーの開催等を行ってきた。

その過程を通じて、これまで築いてきた高校や行政等とのネットワークの有効性と子どもを実際に受け入れていない時点での説得力、発信力の弱さにも気づいた。

これからは実際に来てくれている、来てくれる子どもたちとの縁を大切にして、共に成長していきたい。

